

《担当者名》○浅野雅子 asanom@hoku-iryo-u.ac.jp 近藤里美、児玉壮志

【概要】

本講義では、精神障害領域における作業療法の基本的な知識を踏まえて理論的体系化を試みる。具体的には、精神障害によって引き起こされるさまざまな生活機能障害に対する効果的なリハビリテーションについて、現在、効果検証がなされている介入や指導方法および関連する最新の技法等に関し、その理論や支援技術に関する理解を深めるため、国内外の研究成果について関連する文献等の講読や調査を通して学習する。また、作業療法と精神保健など関連領域との関係性について、比較検証を行いながら理論的考察をすることで更なる理解を深める。

【学修目標】

最新の学術論文をレビューし、批判的に吟味する能力を身につける。

1. 自身の専門に関連する研究分野の動向を理解し説明することができる
2. 自身の専門に関連する研究分野における課題を発見することができる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の概要、学習目標・内容、スケジュール、学習方法の説明を行う。	浅野雅子 近藤里美 児玉壮志
2～15		精神障害領域におけるリハビリテーションが抱える課題についてディスカッションとプレゼンテーションを通して多角的に検討する。	浅野雅子 近藤里美 児玉壮志

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

主として講義のディスカッションへの参加状況などにより総合的に評価する（100％）

【教科書】

開講時に紹介する

【参考書】

必要に応じて講義時に適宜資料を配布、紹介する

【学修の準備】

参考文献以外にも関連分野の文献等を各自調査し学習すること（予習80分、復習80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、保健・医療・福祉の分野において、リハビリテーション科学に関する高度な学識と研究能力を修得し、リハビリテーション科学の発展を通して社会に貢献できるというリハビリテーション科学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士・音楽療法士） 児玉壮志（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や地域での臨床経験や、研究機関との共同研究実践を活かした内容とする。